

日時 12月14日(土) 13:00~17:00

場所 学士会館大講堂 東京都千代田区神田錦町 3-28

入場  
無料

第1回生存科学シンポジウム

# 21世紀の 生存科学 を考える

基調講演

**養老 孟司**

解剖学者・東京大学名誉教授

総合司会 **笠貫 宏** / **丸井 英二**  
東京女子医科大学学長 人間総合科学大学人間学部教授

講演1 生存科学をどう捉えるか

**青木 清** 公益財団法人生存科学研究所理事長  
上智大学生命倫理研究所所長 人間総合科学大学副学長

講演2 生存科学と教育について

**小泉 英明** 株式会社 日立製作所フェロー

講演3 東日本複合大災害から生存を考える

**山下 俊一** 長崎大学理事・副学長 福島県立医科大学副学長



<http://seizon.umin.jp>

お問い合わせ

公益財団法人 生存科学研究所

〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1 聖書館ビル 303

TEL : 03-3563-3518

FAX : 03-3567-3608

email : seizon1@gmail.com



## 開催にあたり

東日本大震災の後、「生きる」とは何か、どのように生きていくか、問われることの少なかった本質的な問題が提起されています。私たちの文明社会が今までと同じ形で将来を展望し、過ごしていくことはすでに不可能でしょう。これからの私たちと子孫の生き方を真剣に考えていく必要があります。

今回、公益財団法人生存科学研究所ならびに公益信託武見記念生存科学研究基金が共催して、シンポジウムを開催することにいたしました。この2つの団体は故武見太郎先生が自然科学と社会科学、人文学を統合して「生存科学」を構想し、1984年に設立されたもので、すでに現代文明が行き詰まり、新たな哲学が必要となる日が来ることをあたかも予見していたかのようです。

設立から30年余りを経て、エネルギーの大量消費に伴う気候変動と自然災害の多発、加速する科学技術と倫理の問題等々、難しい舵取りが必要な問題が山積しています。そうしたなか、20世紀の「生存科学」から、日本のそしてまた世界の人びとが21世紀を生きていくための「生存科学」について問題提起をしていくべきであると考え、その入り口として、養老孟司先生に「21世紀の生存科学」について語っていただき、さらに生命倫理、放射線、脳科学などの専門家の方々に、それぞれの立場からの生存科学を論じていただきます。

皆さまとともにこれからの生き方を討議する場としたいと存じます。

## シンポジウム実行委員会

## プログラム

13:00 開会の辞 青木 清

13:10 武見記念生存科学研究表彰式

13:40 休憩

### シンポジウム「21世紀の生存科学を考える」

13:50 基調講演  
養老 孟司：21世紀の生存科学を考える

14:40 講演1  
青木 清：生存科学をどう捉えるか

15:00 講演2  
小泉 英明：生存科学と教育について

15:20 講演3  
山下 俊一：東日本大震災から生存を考える

15:40 休憩

15:50 パネルディスカッション

16:55 閉会の辞 笠貫 宏

## 会場のご案内



### 学士会館

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町 3-28  
地下鉄都営三田線 / 都営新宿線 / 東京メトロ半蔵門線  
「神保町」駅下車 A9 出口徒歩 1 分、  
東京メトロ東西線「竹橋」駅下車 3a 出口から徒歩 5 分  
「東京」駅北口からタクシーで 10 分

## 公益財団法人 生存科学研究所

本研究所は、急速な科学の進歩により生じる新たな危機から人類をまもるため、凡ゆる領域から総合的に『生存』問題に取り組む研究所として、医師会会長を長く務めた故武見太郎先生により 1984年に設立されました。

その活動はホームページ(<http://seizon.umin.jp>)に掲載されています。会員は生存科学に関する自主研究を様々な視点から行い、講演会、シンポジウム、あるいは学術誌「生存科学」を通じ、広く一般の方々とその成果を共有するよう努めております。

## 公益信託 武見記念生存科学研究基金

当基金は、故武見太郎先生が創造した生存科学の普及・発展を図ることを目的に 1982年9月に生存科学研究基金設定準備委員会により設立されました。

爾来、当基金は、人類の将来を展望し、ライフサイエンスを中心としてそれに関連する人文科学及び社会科学を加えて総合的に「人類の生存」を考究する「生存科学」の確立と推進を目的に『武見記念賞』および『生存科学武見奨励賞』を創設し、生存科学とその関連分野で顕著な業績をあげた研究者または実践者の顕彰に取り組んで参りました。